

# 平成21年度職員提案の流れ

## 提案の募集

- ・7月1日～7月31日の期間で募集
- ・43件の提案の応募

## 一次選考

- ・8月中旬において、市長によるペーパー審査を実施
- ・43件⇒12件に選抜

## 二次選考

- ・9月下旬において、職員提案審査会委員5名によるペーパー審査を実施
- ・12件⇒5件に選抜
- ・提案に対する関係課からの意見聴取

## 最終選考

- ・10月30日において、職員提案審査会委員5名によるプレゼンテーション審査を実施
- ・選抜された5件に対する各賞の決定
- ・事業化をする提案の決定

※職員提案審査会委員は市長、両副市長、企画部長、総務部長

# 各賞受賞提案一覧

部門	件名	提案概要	賞
フリー	市民協働モデル事業の実施	公益的な事業を行う団体(市民活動団体に限らない)から協働企画の提案を受け、審査を経て、協働事業を決定し、役割分担等、双方合意のもと、協働事業を実施する。また、逆にテーマを絞った上、市から協働事業のパートナーを募集し、同様の手続きを経て協働事業を実施する。	市長賞
テーマ	近隣観光地の旅館等における小田原ガイドの配布について	伊豆、熱海、箱根の主要な旅館及びホテルにおいて既に作成済みの「小田原城周辺マップ」を編集し、両面の仕様へ変更し、観光地向け小田原駅周辺観光ガイドを置き、旅行の道中に小田原へ寄っていただき、特典として小田原ガイド及び宿泊先発行の領収書又は市内での買い物証を提示により小田原城の入場料の割引を行う制度の導入を行う。	1級
フリー	自治会加入率ジャンプアッププラン	地域担当制導入に伴っては、自治会は地域運営の最良のパートナーであるべく、各自治会がそれぞれ持っている個性を生かし運営体制を強固なものにしていかねばならないが、昨年、ライフスタイルの多様化などにより、自治会加入率は漸減しているところである。そこで、知恵を絞り自治会加入率向上を行政全体で考える。	2級
フリー	Google AdSense(コンテンツ連動型広告)を利用した市ホームページへの広告掲載	小田原市の主要な情報発信ツールである市ホームページ上に、市関連広告を自動取得・配信し、閲覧者がその広告をクリックすることで市が収入を得られる仕組みを導入する。単純計算では1月あたり30,000円以上の収入が見込まれる。	3級
フリー	業務改善を目的とした成果報告及び改善提案制度の構築	業務改善を最終目的として、個人別目標実行計画表において成果報告欄及び業務改善提案欄を設け、職員の影の努力を評価し、これを人事評価に反映させる。	努力賞
フリー	職場だよりの発行	各課で行っている業務を市民や職員へ理解してもらうとともに、各課で困っていることやお願いしたいことなどをA4版1枚ないし、裏表(2枚)にまとめた職場だよりを発行し、回覧版やホームページで発行する。また市民や職員による評価を受け、最優秀職場だよりを決定し、表彰する。	奨励賞
フリー	近距離内における職員の自動車通勤の抑制	環境配慮の観点や朝の市役所周辺の交通渋滞の緩和のため、自動車通勤を縮減する方策として、近距離内の通勤については、自動車による通勤手段を抑制するため、近距離の自動車通勤手当を減額し、歩行やその他交通用具による手段の同距離の通勤手当を引き上げる。	奨励賞
フリー	放牧による農地保全	山間地域や農林業地域において、担い手不足により農林業の衰退が進んでおり、遊休農地が増加している。この問題を解消するため、市で飼育しているヤギをレンタルし、休耕地で放牧を行い良好な農地の管理を行う。公園など市で管理している施設で除草が必要となった場合もヤギの放牧で対応し、草刈費用をなくす。	奨励賞
フリー	公共施設の駐車場有料化	市役所、病院、スポーツ施設等集客性のある公共施設の駐車場にゲート又は駐車料金徴収員を配置し、駐車料金を徴収する。このことにより、無断駐車抑制及び受益者負担の観点から公平性が保て、かつ収入の確保にも繋がる。	奨励賞
フリー	防災・気象情報を電子メールで無料配信	ゲリラ豪雨や地震等の異常気象の新たな防災対策として、気象庁が発表する各種気象情報(警報・注意報・地震・台風等)や防災情報を電子メールで無料配信するとともに、携帯電話で無料閲覧ができるようにする。	奨励賞
フリー	障害者の就労訓練の場を兼ねた喫茶コーナーの設置	知的障害者が社会と接しながら就労への訓練を受けることの出来る場所を提供するとともに、市職員及び来庁者に働く障害者を身近に感じてもらうことにより障害者への理解や障害者が工夫と支援があれば働くことが可能であることを理解する機会とするため、本庁舎に来庁する市民等へのサービス向上と障害者の就労訓練としての場所として、本庁舎2階の市民ロビーで飲料等の販売を行う。	奨励賞
テーマ	希望と活力あふれる小田原～地域経済活性化の方策について～	小田原城ミュージーゼにて現代の優れた美術工芸、新進作家の芸術品を展示し、発信する。美術工芸友の会を作り、会員特典をつけることで、鑑賞のために本市を訪れるリピーターを増やす。	奨励賞